

病防第26号
平成30年5月7日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について（送付）

このことについて、平成30年度病害虫発生予察注意報第1号を公表しましたので、送付します。

注 意 報

平成30年度病害虫発生予察注意報第1号

農作物名 ナシ、モモ、ウメ、ビワ、カンキツ類等
病害虫名 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 5月中旬以降
- 3 発生程度 平年比 多

4 注意報発表の根拠

- (1) 合志市、宇城市、天草市に設置している集合フェロモントラップにおける果樹カメムシ類の誘殺数は4月第5半旬に急増している（図1、2、3）。
- (2) 現在までに八代市、芦北町、天草市における果樹園で果樹カメムシ類の飛来を確認している。
- (3) 平成30年1～2月のチャバネアオカメムシの越冬成虫数は、県下16地点の合計20頭（前年2頭、平年7.2頭）と過去10年間で2番目に多かった（図4）（平成30年3月2日付病防第135号「チャバネアオカメムシの越冬調査結果（技術情報第13号）について」を参照）。
- (4) 4月26日に発表された九州北部地方の1ヶ月予報（福岡管区气象台）によると、5月の気温は平年より高く、果樹カメムシ類の活動が活発になることが予想される。

5 防除対策

- (1) 果樹カメムシ類の発生時期や飛来量は地域や園地による差が大きく、同一園内でも局在するため、園内を観察し早期発見、早期防除に努める。特に、山間部や山沿いの園地では、発生加害が多いので注意する。
- (2) 最新のカメムシ類の誘殺状況は、病害虫防除所HP（<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>）に掲載しているので、確認し防除の参考にする。
- (3) 果樹カメムシ類は日没直後に果樹園に飛来し、翌朝飛び去るため、夕方や早朝の防除が有効である。
- (4) 合成ピレスロイド系殺虫剤の多用は、天敵等への影響が大きく、ハダニ類の発生を助長するので、最小限の使用にとどめる。
- (5) 薬剤の使用にあたっては、使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに、周辺作物への農薬飛散（ドリフト）に注意する。

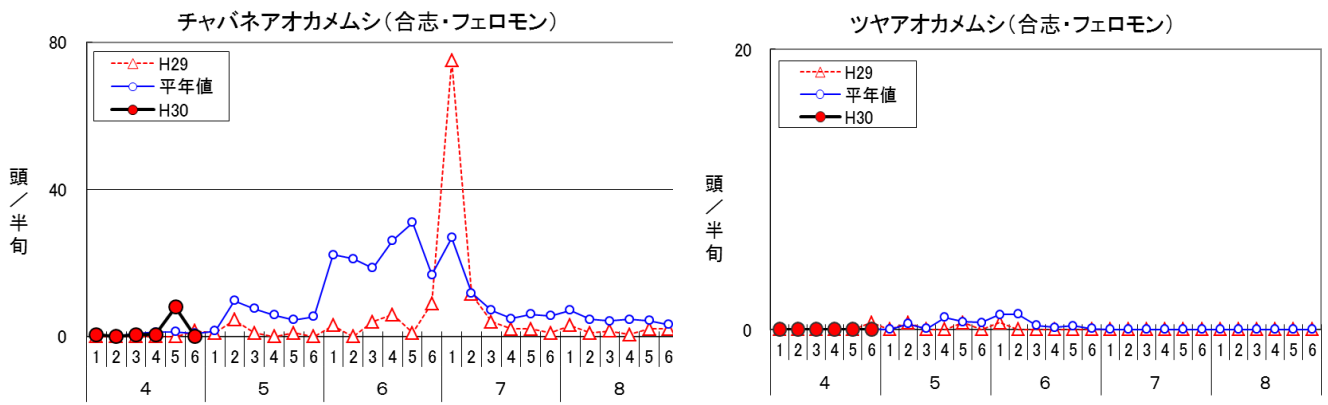


図1 合志市における果樹カメムシ類の誘殺数の推移（設置場所：農業研究センター）

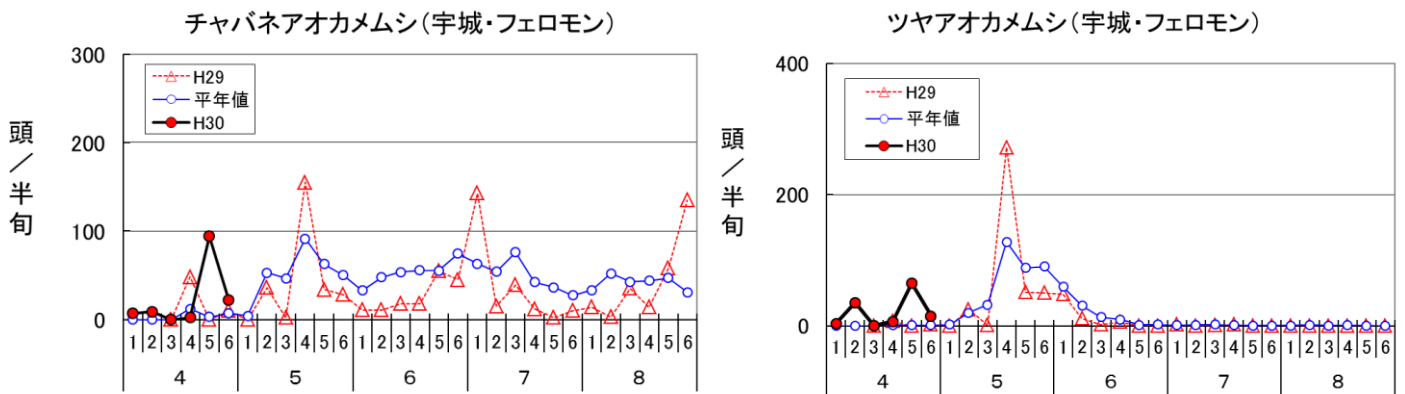


図2 宇城市における果樹カメムシ類の誘殺数の推移（設置場所：果樹研究所）

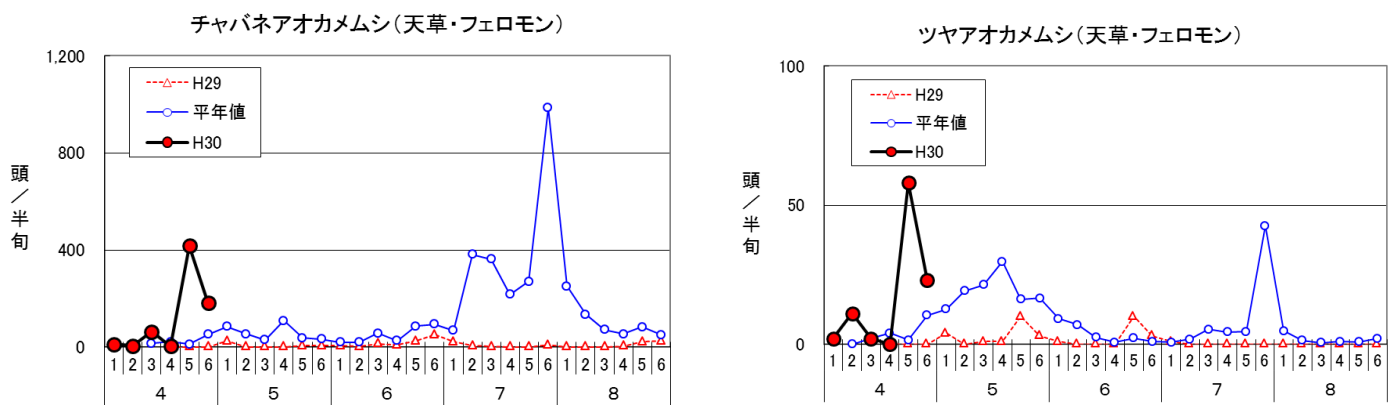


図3 天草市における果樹カメムシ類の誘殺数の推移（設置場所：天草農業研究所）

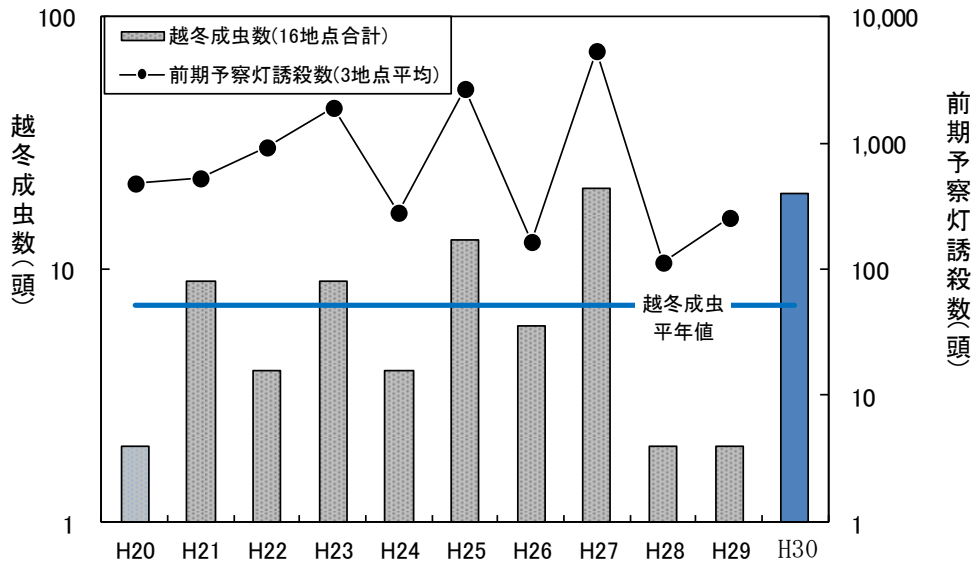


図4 チャバネアオカメムシの越冬成虫数と前期予察灯誘殺数の推移

※「越冬成虫数」は、各3㎡調査した16地点の合計頭数を対数表示(左縦軸)した。

※「前期予察灯誘殺数」は、合志市栄、宇城市松橋、天草市本渡に設置した3ヵ所の予察灯の4月から7月までの累積誘殺数を平均し、対数表示(右縦軸)した。

※「越冬成虫平年値」は、過去10年間の平均値。

熊本県病虫害防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 病虫害研究室 予察指導係)
 担当：斉藤、清永 TEL 096-248-6490